

**製品名: CD156B マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82931**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	93kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD156B
別名	ADAM17;CSVP; TACE; NISBD; ADAM18;; NISBD1
遺伝子 ID	6868.0
SwissProt ID	P78536
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD156B (AA: 497-671) の精製された組み換え断片。

**背景**

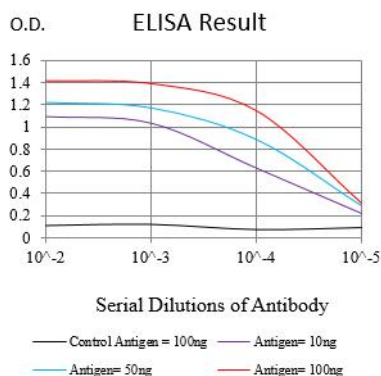
この遺伝子は、ADAM（ディスインテグリンおよびメタロプロテアーゼドメイン）ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、ヘビ毒ディスインテグリンと構造的に関連する膜アンカー型タンパク質であり、受精、筋肉の発達、神経

発生など、細胞間および細胞-マトリックス相互作用を伴う様々な生物学的プロセスに関与しています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成します。コードされているプロテアーゼは、腫瘍壊死因子  $\alpha$  の細胞外ドメイン切断において機能し、膜結合型前駆体から可溶性の腫瘍壊死因子  $\alpha$  が放出されます。このプロテアーゼは、細胞接着タンパク質、サイトカインおよび成長因子受容体、上皮成長因子 (EGF) 受容体リガンドなど、他の多くの基質の処理にも機能し、Notch シグナル伝達経路の活性化において重要な役割を果たしています。この遺伝子の発現亢進は、乾癬、関節リウマチ、多発性硬化症、クローン病患者由来の特定の細胞型で観察されており、コードされているタンパク質が自己免疫疾患において何らかの役割を果たしている可能性を示唆しています。さらに、このプロテアーゼは、SARS-CoV および SARS-CoV-2 の細胞受容体である ACE2 を切断することで、ウイルス感染においても役割を果たしている可能性があります。

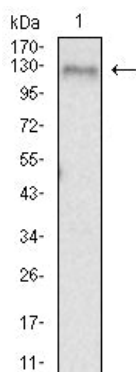
## 研究分野

ノッチシグナル伝達経路

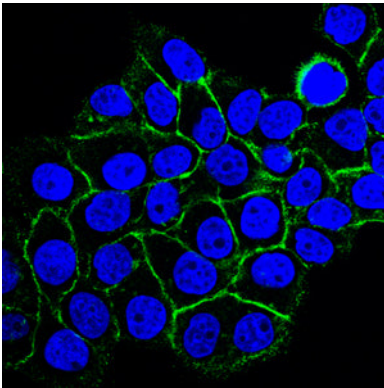
## 画像データ



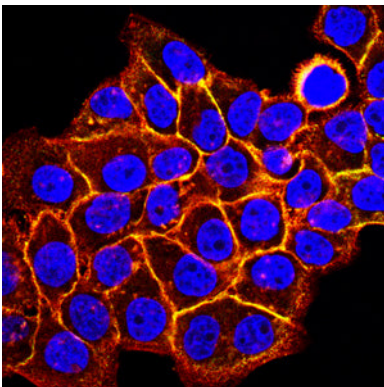
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



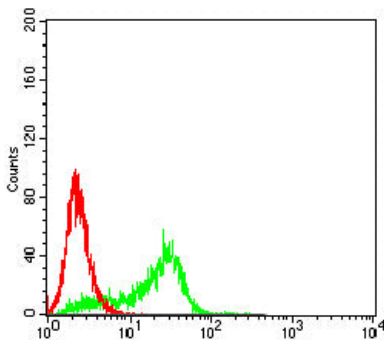
Jurkat (1) 細胞溶解物に対する CD156B マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



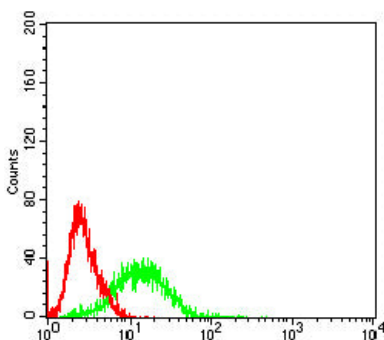
CD156B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



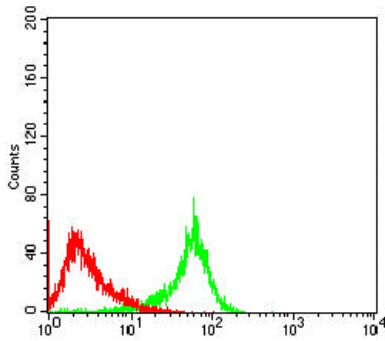
CD156B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD156B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD156B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD156B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。